

## 令和4年度 第4回伊丹市立荻野小学校運営協議会

【日時】 令和4年12月2日（金） 10:00～12:00

【場所】 荻野っ子学習室

【出席者】 協議会委員：吉田会長ほか（7名参加）

教職員：校長、教頭、養護教諭

その他：指導主事

【内容】 (1) 吉田会長挨拶

(2) 学校長挨拶

(3) 協議

【協議内容】 (i) 養護教諭より生活リズムチェック表の結果と考察について（別紙参照）

○起床時間、就寝時間について

- ・起床は7時前の設定が大半だが、7時以降の設定も少数あり。  
→起床時間が遅くなると朝食をきちんと摂取して登校出来ているかが心配。
- ・就寝時間は高学年になるにつれて遅くなる傾向。時間設定を遅くしていても就寝時間は守られていない。

○朝食摂取について

- ・調査では荻野小は朝食を食べている率が全国に比べて高いが、朝食の内容について心配の児童も。とりあえず食べているだけで栄養不足、エネルギー不足の可能性も。  
→中学校に上がると運動量も増え、朝食を摂らないと体が持たない。  
小学校のうちから朝食をきちんと摂る習慣を身につけてもらいたい。

○ゲーム・タブレットについて

- ・設定時間が60分以上の児童が一定数あり、高学年になるほど増加。
- ・設定時間を長時間にしても、その設定時間を守れているわけではない。  
→スマホは持たせていなくても、勉強をしているふりをしてタブレットで遊んでいる事案もあり。

○家庭学習について（家庭学習時間の目安：20分+10分×学年）

- ・家庭学習の定着が難しい児童もいる。高学年になるにつれて家庭学習が出来ていない割合が増加。  
→保護者から、家庭学習は宿題以外で何をどのようにさせればよいか分からないとの意見もあった。家でどのように過ごすか、家庭での話し合いが必要。

○睡眠時間について

- ・全体的に睡眠時間が短い傾向。
- ・データで見ると、睡眠時間が短いと身長が低く肥満度も高いという傾向にある。  
→睡眠時間が短いと成長ホルモンの分泌に影響する。
- ・ゲームやタブレットの時間を減らし、睡眠時間を増やす。  
→睡眠時間を増やすことで翌日の午前中のコンディションを上げ、学校での生活や学習をよりよくする。
- ・担任による睡眠指導を実施。家庭へ睡眠を特集した『ほけんだより』を配布。  
→家庭内で子どもと一緒に読み、睡眠について考えてもらいたい。
- ・6年生は来年の中学校生活にむけて、睡眠についての講演会を検討中。  
児童だけではなく保護者にも。  
→中学生になってから自分の生活コントロールや睡眠への考え方を学び、小学校のうちから生活習慣をしっかりと身につけて、自立する大人へなってもらいたい。
- ・睡眠時間の問題が改善されたら、次は朝食について考えていく予定。

(ii) 学校での様子について

○学校行事について

- ・ 体育大会の開催 (2部制・保護者2名まで)  
→5.6年生による係活動の実施。受付で来場者の案内なども担当。児童にやりがいを感じてもらえた。
- ・ 荻野平和デーの開催  
→ハッピーエフエムいたみで『荻野平和デー』を2時間放送。  
子どもたちからのメッセージやインタビューなど。後日YouTubeでも視聴可能。  
→来年度以降も、創立記念日を「平和を考える日」として継続していきたい。
- ・ 音楽会の開催 (学年毎の入替制・保護者2名まで)  
→マスクを着用しての演奏、合唱。
- ・ 各学年行事の実施  
→1年生は保育園、幼稚園の園児たちと交流。保幼小の連携を進めている。  
→阪上さんによる食育講話。  
→5年生は荻野の特産を考える授業の一環で『さつまいも』をテーマに。  
阪上さんから講話。さつまいもを栽培し始めた経緯や農家の後継者問題、どのような思いで食物を育てているかなどを聞かせていただく。  
家庭科、国語科など総合授業としてスタートしたところ。  
→3年生は芋掘りを実施。焼き芋パーティも実施予定。  
→九九道場の実施。大勢の地域の方々の協力。  
→トライやるウィークの実施 (東中、荒中)  
6年生と東中生が交流。タブレットを使い説明し質疑応答も。

○その他

- 習熟度別の授業、教科担任制の実施。取りこぼしのないよう多くの目で見えていく。

(iii) その他

○地域より

- ・ 自治協会長が亡くなられたことにより、大野自治会長の中島さんが代理をされている。
- ・ 荻野地区防災訓練の実施。大勢の方に参加してほしい。

○PTAより

- ・ 下足室前にPTA活動へご協力いただいた方々を紹介する『ありがとうの木』を掲示したところ、子どもたちが家庭で話題にしてくれて、ボランティアの参加者も増えてきているように感じる。

○幼稚園より

- ・ 睡眠時間や朝食のことは幼稚園でも同じ問題があがっている。  
→『げんきカレンダー』の実施。小学校の生活リズムチェック表とほぼ同じ内容となっている。保護者の意識を変えてもらう。個人ではなく全体での見直しが必要。就学前からの体作りの必要性を改めて認識。
- ・ 小学校が行っている活動は、外部の力を借りながら主体的に取り組んだ課題を実現させ、やってきたことの成果が見える活動となっており参考になる。

(iv) 次回の学校運営協議会について

- 令和5年1月27日(金) 10時～